

卒業 おめでとう。

君たちは、修猷という学びの場で最高の仲間と出会い、個性豊かな先生と学び、社会の第一線で活躍されている先輩方に刺激を受けました。この「人と人との関わり」に加え、修猷独自の校風・文化にもあたたかく生まれ、多様な経験をしてきました。

清水前学年主任の「真・善・美」の思いを受け、引き継いだ藤原学年主任、そして各先生方の大きな器の中で、君たちは仲間と切磋琢磨しながら新たな世界を切り拓いてきました。特にコロナ禍においては、誰も経験したことのない未知のことに遭遇し、制約、我慢、不安などと葛藤しながらも耐えて頑張り、挑み続けました。その結果、「本当に大切なものが何か」をわかった君たちは、思いどおりにいなくてもキラキラ感、ワクワク感をもって「何とかなる、どうにかする」という覚悟で修猷での学びを成し遂げていきました。

大文化祭では、文化の本質をブラッシュアップしました。私の経験上、最高の文化祭でした。部活動の大活躍は学校を元気づけ、彼の群小を全員で歌うことができました。大運動会では、本気の限界を突破し、「新しい風」をも巻き起こしました。進路実現においては、自作の修猷模試模試には脱帽、そして第一志望を貫く強気の挑み、最高の結果となることを確信しています。

これらの多様性に富んだ君たちのかっこいい姿は、新たな「修猷文化、修猷の伝統」となりました。

そんな君たちのことを私は「修猷として誇り」に思います。答えが見えない難題に対する君たちの「一歩前へのこだわり」と「おおらかさ」の実践のおかげで、若者の可能性の素敵さ・凄さを修猷はあらためて学ばせてもらいました。また、私にとってもそんな君たちと共に過ごした修猷生活は、豊かで幸せな時間でした。本当にありがとう。

ここで、「使命と責任」を背負う大人への門出を祝し、私の思いを語らせてもらいます。

修猷生活で獲得した最高の宝物「根拠ある自信」と「根拠なき自信」についてです。「根拠ある自信」は、やったという自信、実績・結果を獲得した自信です。「根拠なき自信」は、修猷での多様な「体験」から得た、やればできる、周りの信頼に答える、信頼までも力とする自信です。この2つの自信をもった君たちは、強く、たくましく、そして社会人として貴重な人材です。このことを強く自覚し、修猷の教えである「世のため人のため」の精神のもと、今後は意識を更に社会へと向け、自らの生き方を考え、これからの日本・世界を担う覚悟を「志」としてほしい。まさに館歌にある「我らが使命を果たしてん」です。期待しています。

結びになりますが、保護者の皆様、入学以来、本校教育に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。特に、コロナ禍の難しい状況において、いろいろな思いはあったと察します。その思いの上で温かく見守っていただきましたことに厚く感謝申し上げます。

今後の君たちには、唯一無二の修猷文化「お前も修猷か」でつながる縁が待っています。良い加減の心持ちで存分に暴れてください。そして、またいつかこの修猷でお会いしましょう。

君たちの未来が光り輝くことを祈念し、式辞といたします。

令和五年三月四日

福岡県立修猷館高等学校 館長 岡本 圭吾